

朴沢学園の伝統「裁縫教育の歴史」を探る!!

「総合的探究の時間」で、朴澤泰治理事長から朴沢学園142年の歴史を伝承☆

12月22日(水)に、明仙フィールド内ATルームの「朴沢学園資料室」をデザインアートコース最後の3年生3名が訪問することになり、事前学習が始まりました。16日の事前学習では朴澤理事長が「142年の歴史のうち、75年は見てきた」と話し、参加した生徒達も興味深く朴澤理事長の講話に耳を傾けていました。翌17日にも法人会議室で資料を読み、より深く歴史について学びました。



◆◆ 生徒の感想 ◆◆ 卒業前に朴沢学園被服科の古い資料を見てみようという提案が、あっという間に理事長先生との懇談という形から始まって、本当にビックリしました。でも、私たちのためにたくさんの資料を用意してくださり、そして熱い思いも語っていただいて、うれしかったです。また、「朴沢学園裁縫教育資料集第3集」の367ページに、令和元年のファッションショーの写真があって、私たちが映っていました。とても驚くと同時に、142年の歴史に直接関わっていることを実感しました。(小平陽菜)



・学科改編により、朴沢学園伝統の被服科を伝承するデザインアートコースが最後の学年となりました。
 ・10月30日には最後のファッションショーを成功させ、裁縫教育の歴史を迎い始めました。

☆ これから始まる「裁縫教育の歴史」調べは、随時ホームページにてレポートしていく予定です。卒業生(同窓生)の皆様もお楽しみに…。

◆ 朴沢学園裁縫教育資料のページ

<http://hozawa.ac.jp/approach.html?name=db>

